

にゅーひん

♂ふたなり  
♀シンドよ  
娘と!



にゅーひん

♂ふたなり  
♀シンよら娘と  
!



ねえ  
一緒にお茶しない？

#ロイ!!

そんなに  
怒らなくても

いつもいつも  
一人で寂しそうな  
顔してるじゃん

気になるアノ娘は  
ふたなりっ娘!?

#キユ

そんなことっ  
無いっ

私に近づかないでって  
言ってるでしょ!

ハニツ

タッ  
アッ  
アッ

あっ

クッ

放っておいてよ!

あらお友達？  
みほなら帰ってるから  
あがって良いわよ

はい  
お邪魔します！

はあ  
こんなんじゃダメって  
わかってるのに…

寂しいな  
皆と仲良くしたいな

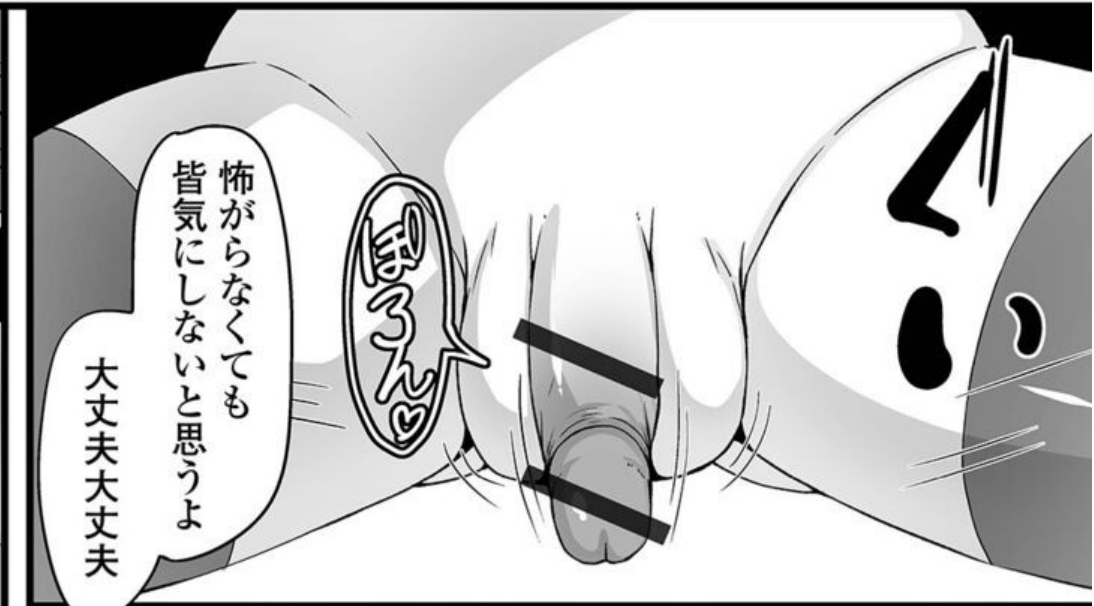
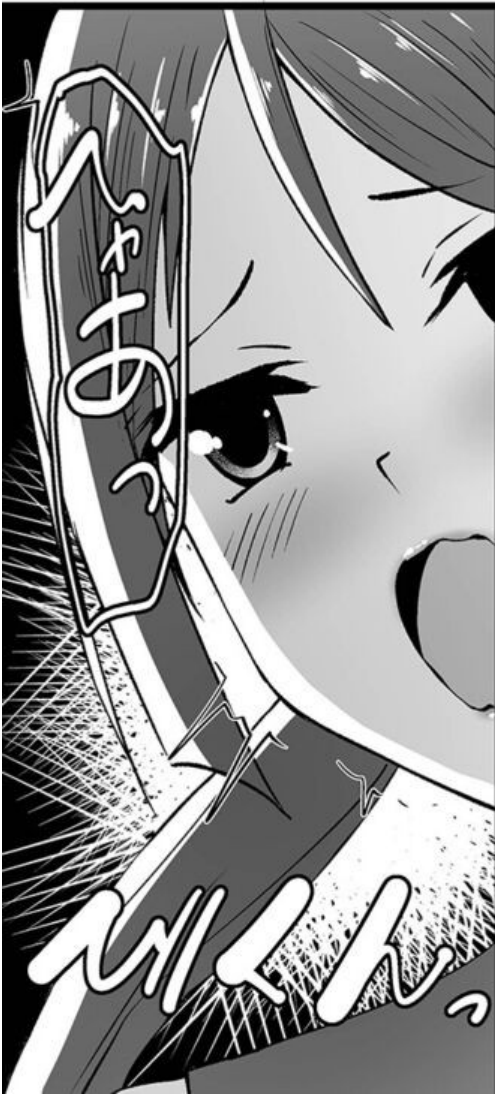
なんで  
こんなモノが  
ついてるんだろう

バレるのも  
怖いよ…

ほほん

ガチャ  
リ

ニヤア













こんなに熱くてぐちゃぐちゃになったの初めてだよ

ほらよだれダラダラでみほちゃんのおちんちんが欲しいって

私のおちんちん気持ち悪く無いの?



だからキモく無いって〜

私のクリもピンピンになっちゃって



かおりちゃんは  
どうしてこんなに…  
今まで  
何度も突っぱねて  
来たのに

擦るたびに  
イツちやつてるの  
みほちゃんにも  
わかるよね



気になっちゃった  
んだよねー



だから



またツイッ  
ちゃった

もう我慢できない!  
いただきまーす!

ひゃあああ

ちゅっ

ちゅっ

んんん

んんん

んんん

ちゅっ



熱くて  
硬くて  
大きくて

うん  
最っ高っ!

そんな  
私のおちんちん  
良いの?

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

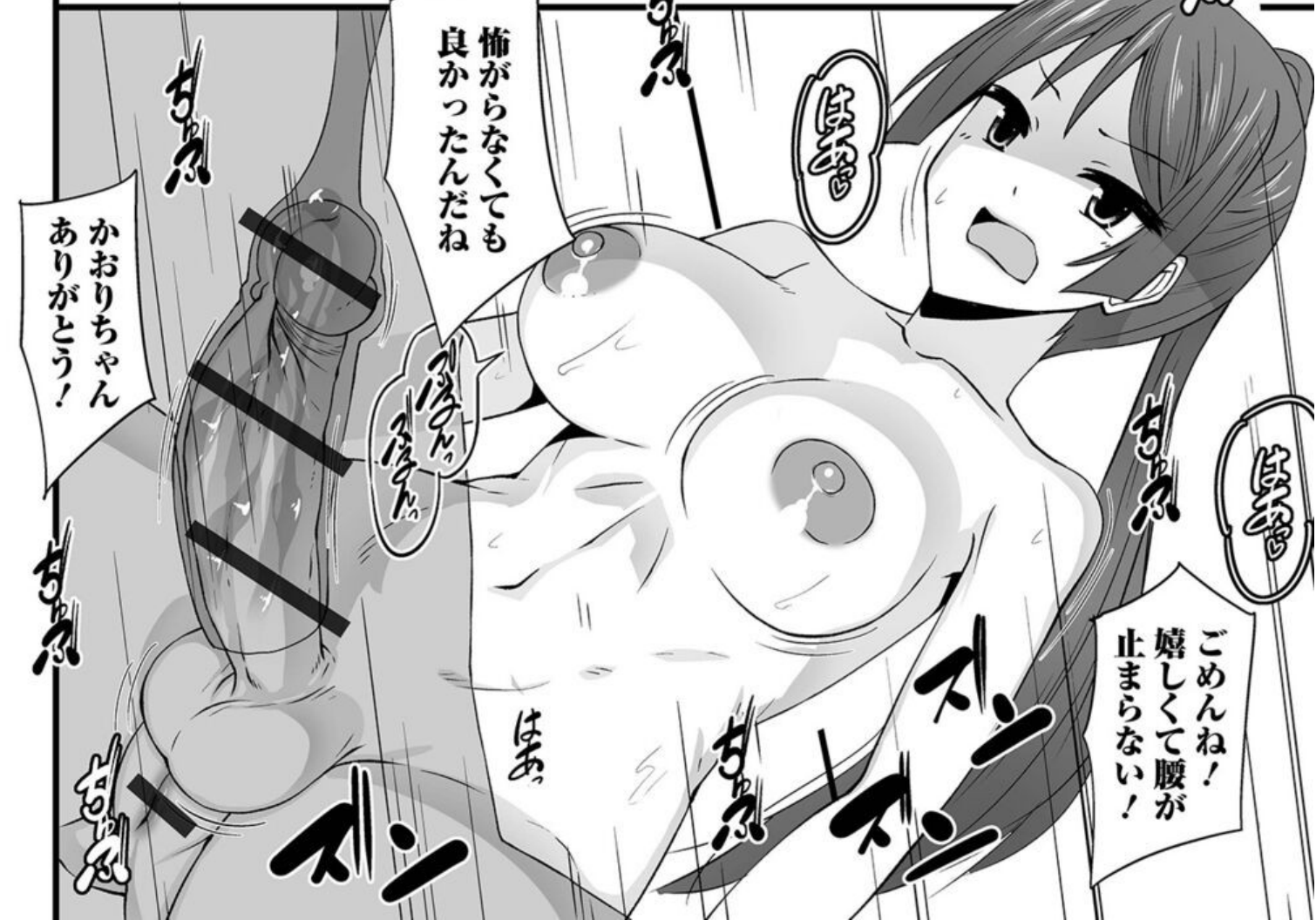
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ





はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ひやあ

いきなり!

みほちゃん

ああああ  
みほちゃんはげしひッ!

はあ

はあ

はあ

はあ

怖がらなくても  
良かったんだね

はあ

みほちゃん

はあ

はあ

ごめんね!  
嬉しくて腰が  
止まらない!

はあ

はあ

はあ

かおりちゃん  
ありがとう!

はあ

はあ

はあ

はあ



そうだよ！

もっと激しくして！

私をめちゃくちゃに  
して！

かおりちゃんの膣内  
どんどんトロトロに  
吸いついてくる！

私のおちんちんに  
吸いついてくる！

おちんちんが  
こんなに気持ちよ  
くなるの

私初めて！

はぁ  
あぁ  
はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ  
あぁ

あぁ  
あぁ



もうダメ  
イツちやう!

ああん  
きこきこ!

あっ  
あっ



睦内に出して  
私を一杯にして!

あ

ああん

あんにゃ  
あんにゃ



まあ  
私がいなくても  
大丈夫だと思う  
けどねー

うん  
ありがとう  
かおりちゃんが  
いるから  
もう怖くないよ

はあはあ  
自信付いた？

え？

はあ♡

はあ♡

んんん

んんん

まじっ  
まじっ

後日

かおりちゃんは友達に  
私のことをバラし

その結果私の元には  
たくさんの女の子が  
来るようになりました



はあっ

はあっ

ああん  
みほのチンポ  
マジやっぱい!



ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

はあっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

次は  
私の番だよ  
独り占めしないですよ

あの：  
私の自由は：

こんな良いもの  
隠してた罰！  
しばらく  
言いなりにになりなさい！

END



はあっ

ちゅっ



はあ  
もう学校行きたく  
無いなあ

ねえねえキミ！  
カワイイね  
ちよつと私と  
遊ばない？



え？  
ポッポク？

さうよ！

えーそんなことないよー  
自信持ってよ

僕がかわいいなんて…  
いつもキモイキモイって  
言われてるし

んー  
さうだ！  
私について来てよ！

**ボクも捨てたもんじゃない**





私が  
自信をつけて  
あげるよ!

あっあの  
ここって…

見ればわかる  
でしょ



こういふとき  
する所!

あーん  
おちんちんも  
カワイイ!

ズル



ひゃッ  
やっ  
やめっ

んんん



いいじゃんいいじゃん  
もっとよく見せてよ  
うふふ  
まだ柔らかくて  
ふにやふにや

ふん

ふふん

ふふ  
恥ずかしがら  
なくても大丈夫

いやああ  
恥ずかしいよ

とき  
とき  
とき

私にも  
キミと同じモノ  
付いてるんだし

ほま  
ほま

ハッ

え？

それ…

ふふん  
ふふん

ぐにゅ  
おち♡♡

ふふん

私いゝ  
ふたなりなんだゝ

ぐにゅ  
ぐにゅ



私のおちんちん  
こんなに熱く硬く  
なっちゃってるんだよ



あは  
乳首もこんなに  
なっちゃった

これ  
ゼーんぶ  
キミの所為  
はあはあ

はま  
はま

まゆん♡



ギョッ

ほめてるんだよ  
キミはかわいいって  
自覚を持つべきなの！

カクカク

カクカク

ほま

ほま

ほま

ほま

ほま

ほま

もったいなよ

とき

とき

とき

とき

いつでも  
学校ではっ

そんなの  
気にしない！  
ソイツらが見る目  
無いだけ

あん  
私もうっ

あっあっあっ

ツツツ

ツツツ

ツツツ

ツツツ



あーん あーん あーん あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

ボクの...  
でもボクいつも  
学校では...

あーん

キミの所為で  
イッチャった

あーん

あーん



ヒヤッ

そんな！  
こんなの恥ずかしくて  
ボクッ



ムクムク



いい加減にしろー！  
こうしてやる！



ほら！  
自分の顔を  
よく見なさい！

男の子も  
乳首いじられるの  
気持ちいいんだよ

ひゃあ！



ジュジュジュ



ミルミル

ほらほら  
どんどんエロくなーれっ

あは

あは

あは

あは  
あは  
ん

たっ確かに自分の  
顔じゃないみたいだ…

あは

あは

あは

そういえば  
今まで碌に鏡とか  
見たことなかったな

目をそらさないの！

あはは  
キミの顔  
すっごいエッチ♪

ベキベキ

セキ  
セキ  
セキ

ジュ  
ジュ  
ジュ







ちんちん

ちんちん

ねえ  
ボク自信もって  
良いんだよね

ほまっ  
ほまっ

おねえさんの  
おちんちんがさつきから  
どんどん硬くなって

行ってるのは  
ボクがエロイから  
なんだよね

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

そっそうだよ!

まじ

まじ

んん

んん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

あつあつ  
スゴイツ

熱すぎで  
おちんちん  
溶けちゃう

は

は

は

は

は

は

まじ  
まじ

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん



キミ 動くのも上手いよ  
私の腰 ガクガク  
いっっちゃってる

ここも  
弄ってっ

乳首もずつと  
勃ちっぱなしで

おまんこ  
おまんこ

おっぱい  
おっぱい

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

おっぱい  
おっぱい

おまんこ

おっぱい

おまんこ

おっぱい

おっぱい

おっぱい

ズンズン

ズンズン

ズンズン



おちんちん  
脈打ってる！  
ボクの中で  
悦んでる！

あつあつ  
もうダメ！

おちんちん  
おちんちん



おねえさんの  
精液がボクの中に！  
ボクこんな  
幸せなの初めて！

おちんちん  
おちんちん

おちんちん  
おちんちん





# 優等生の告白



ずっと前から  
気になっていた  
ユリちゃんから  
なにやらお誘いを受けた

話したいって  
何だろう？



あっあの…

お話ししたい事があるので  
今日の夜  
憩い公園に  
来てもらえませんか？

成績良くて清楚で  
カワイイ子だし

学期末テスト トップ50		492点
1	平沢 由利	487点
2	道明寺 章	485点
3	田中 裕也	479点
4	鈴木 真由里	478点
5	砂糖 千沙	

声を掛けられるなんて  
思ってたな



まさか  
告白とか？  
だったら  
嬉しいなあ

あ  
居た居た！

お待ちませ  
話したいことって  
何かな？

ここだと  
ちよっと…あの…  
だから奥の方行こう

実は私ね…

いつもこちらの方  
見てるみたいなんだけど  
私のこと好きなの？

えっと…  
その実は…

そうなんだ…  
わかった

あとね  
今日これから  
やることは誰にも  
言わないで欲しいの

うん  
わかった

まは

ハッ  
ッ

はあ  
はあ

ほん

ほん

ほん

ほん

あ  
あ

毎日が  
どうしようもなく  
退屈でこんなアソビを  
するようになった



ズルッ

ほろん

ほろん

ほあ

ほあ

でも!

とき

とき

ほあ

ほあ

かク かク

ほあ

ユリちゃんが  
ふたなりだったのは  
びっくりだけど



でも  
もう飽きて  
きちゃって

だから毎日  
私の方チラチラ見てて  
私のことが好きって丸わかりな  
ハルト君に声をかけたの

ほま



ユリちゃん...  
それ...

ズルッ

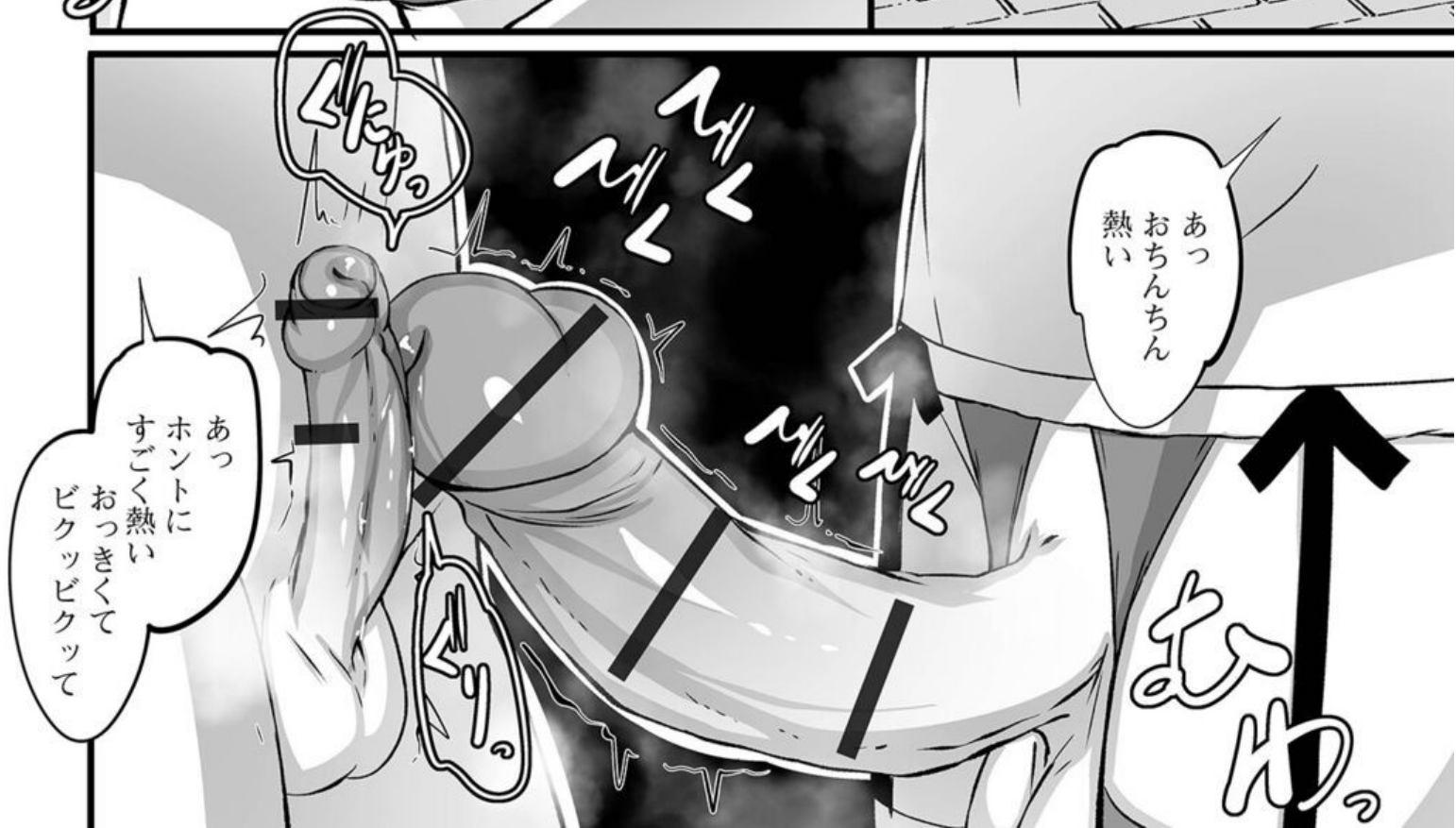
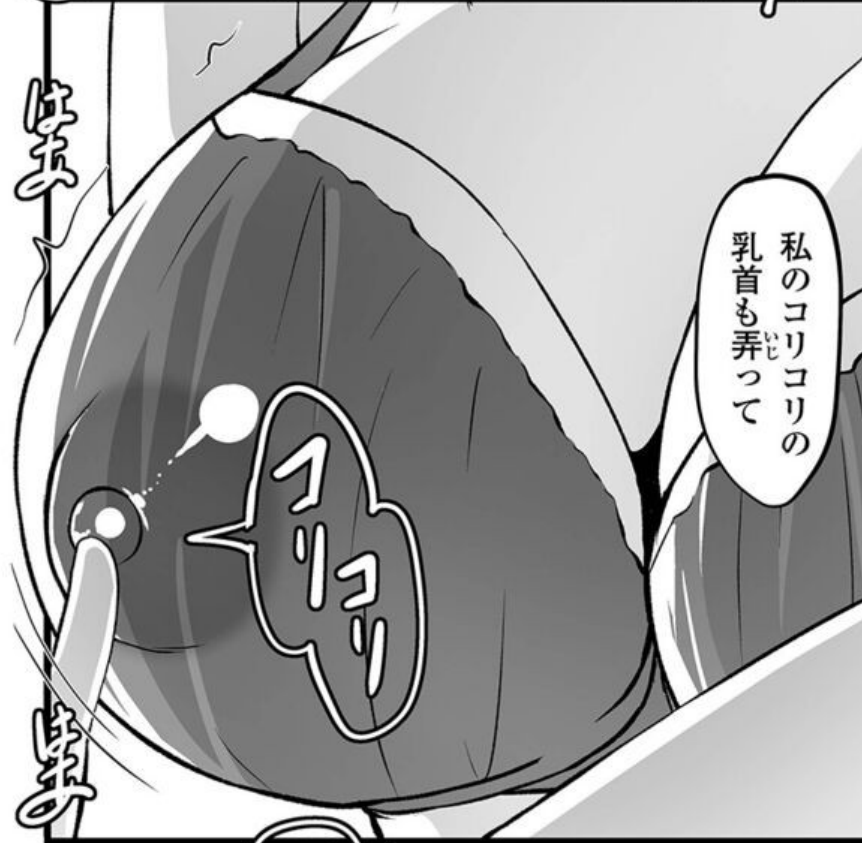
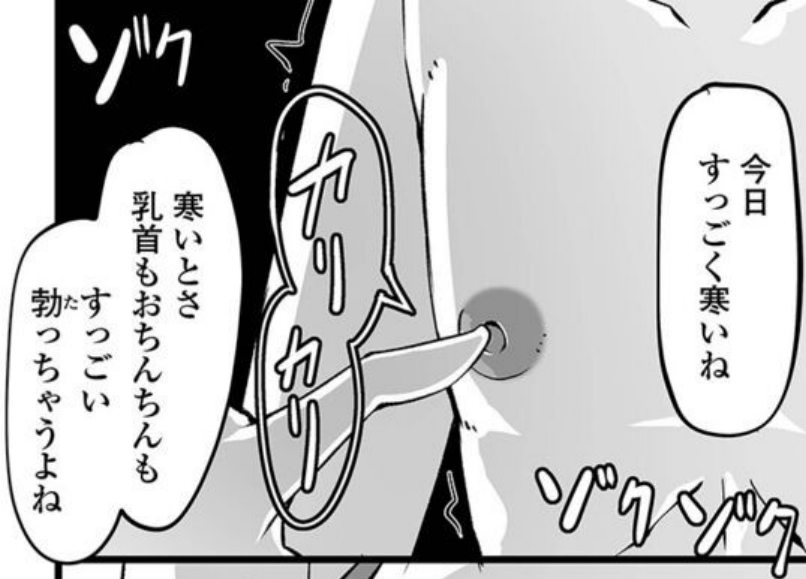
おろん

ズルッ

びっくりした?  
隠すの大変なんだから

こんな身体じゃ嫌?  
私とアソビたくない?

僕は  
ユリちゃんと  
仲良くなりたい!





ちゅんちゅんちゅん

はあ

はあはあ...

はあ

ねえ  
お口でして欲しいなあ  
いや？

ちゅん

大きい...

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

口の中でも  
ドクドク脈打ってるが  
分かる

ああん  
ハルト君の口の中  
あったかくて気持ちいい

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん



あま

あん  
ハルト君のお口で  
トロトロに  
蕩けちゃう!

ちんちん

ユリちゃん  
おちんちん

濃くて鼻の奥に  
絡みつくとオイッ

すごすぎて  
僕のちんちんの  
奥からせりあがって  
来ちゃう

だめだめッ

腰が  
動いちゃう!

ちんちん  
ちんちん

ちんちん



アツアツ  
ユリちゃんの  
ちんちん膨らんできた

喉の奥  
苦しいのに!  
もっともっと  
欲しい!

ちんちん

ん  
ん

ムチ子子子

まん

んー  
ぶほり

ひゃあ!

はあはあ  
ユリちゃんの  
精液ドロドロで  
くさい

ムチ子  
ムチ子

ムチ子

ムチ子

むわ  
むわ

ムチ子  
ムチ子

ムチ子

あつ  
イッちやつた

まん

ほま  
ほま  
ほま  
ほま

おくおく

はあはあ  
カワイイ

ムチ子

ムチ子

ハルト君  
私の精子浴びて  
イッちやつた

ムチ子

クイッ

おっ

ユリちゃん  
こっち!

えっ!  
そっちは!

はあはあ  
ユミちゃん…  
楽しんで  
くれてるのかな  
でも  
もっとスリルあること  
出来るよね…



ユリちゃん  
飽きてきちゃって  
たんでしょ

ならもっと  
大胆に

とま

はま

ん

はま

ん

はま

はま

とま

とま

とま



ハサ

ん



とま

ん

ちん

はあはあ

あわ



ちよ 333-

ハルト君

はま

はま

よま

よま

こんなところで  
あんなに  
気持ちよさそうに

あゆ

あゆ

あゆ

はま

はま

よま

アッアッ

よま

見られたら  
終わっちゃうのに

あは  
あは

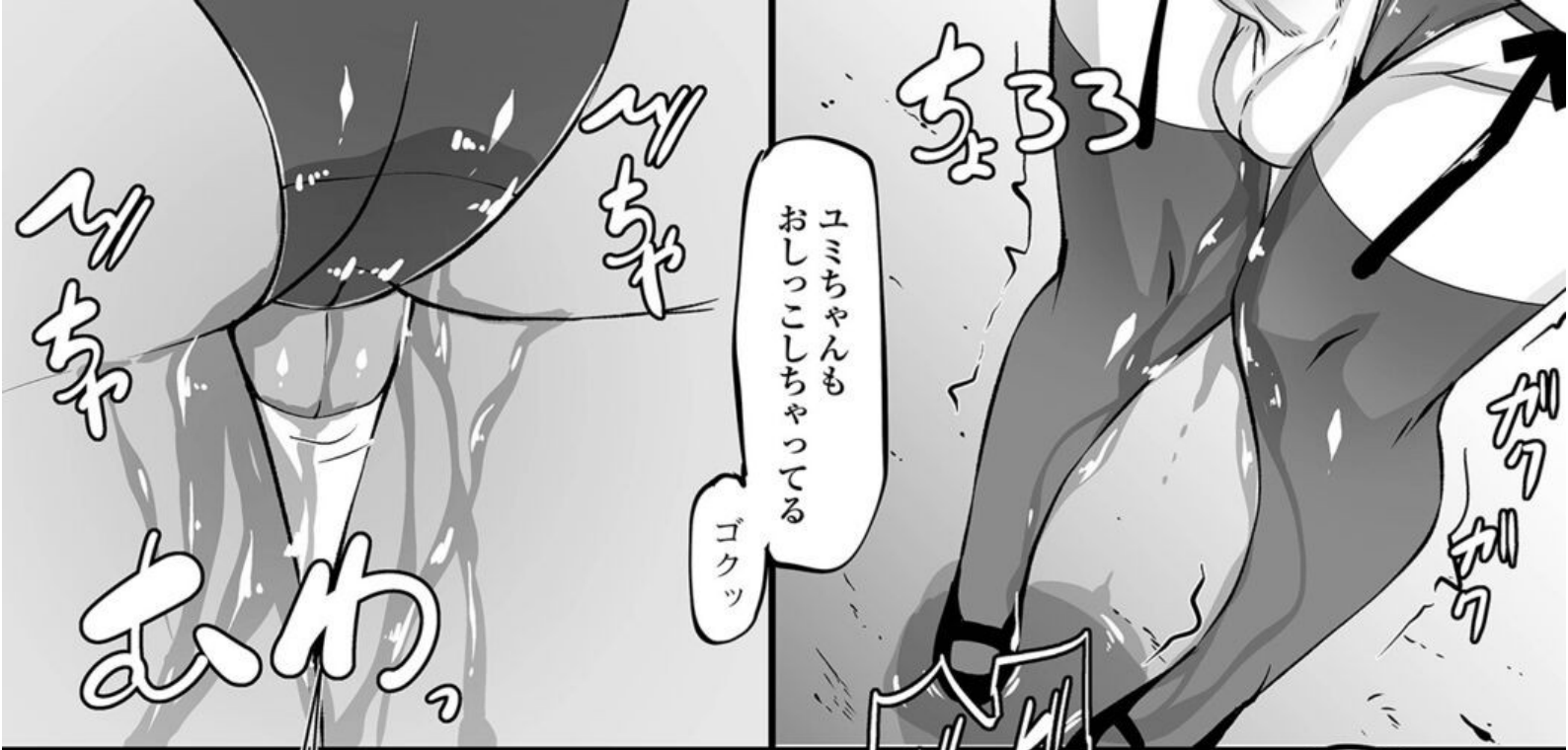
はま

はま

はま

はま

はま





ひゃああ  
ユリちゃんの  
おっきいのが

入ってくるー

ボクのお尻  
キュンキュン  
しちゃってる！

お尻  
キュン  
キュン

お尻  
キュン  
キュン

はあはあ



ハル君がこんなに私のことわかってくれるなんて思ってたなかつた!

はま  
ちやふ



私ひとりじゃこんなスリル味わうことも出来なかつた!

ハル君のおかげ!

私ハル君に自分のこと打ち明けてよかった!

まちゃん  
まちゃん  
はま  
ちやふ  
ちやふ



ちやぶちやぶ

ユリちゃん  
イツちやった!

まっちゃん

ほま

まっちゃん

ちやぶちやぶ

またイツちやった  
嬉しくてちんちん  
止まらない!

えぐって  
ユリちゃんの  
形にさせられ  
ちやってる!

まっちゃん

すごい  
ボクの中で  
ユリちゃんが  
ゴリッ

ゴリッ

ちやぶちやぶ

ちやぶちやぶ



おた おた

おた

おた

おた

おた

おた

おた

おた

キッキッ  
キッキッ

ズンズン  
ズンズン

もつと奥にきてえ

ズンズン

はあはあ  
ハル君の中  
ドンドン熱くなって  
トロトロになって

アツアツ  
もうダメツ

ポクもツ

おた  
おた

ズンズン

ズンズン



おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

僕も  
ユリちゃんのお  
ちんちんが  
無いとむりい…

はあはあ  
こんなに  
イッたの  
初めてえ  
もう  
ハル君の穴  
忘れられ  
ないい…

おまんこ  
おまんこ  
おまんこ  
おまんこ





おー  
似合ってる  
似合ってる〜♪

やっぱり  
お前かわいいな!

サワ



嫌だよ!  
こんなの!!

あっ  
行っちゃった



なんで  
僕の衣装が  
コレなんだよっ!



おーい  
委員長〜

ん?

奏のこと  
連れ戻して  
来てくれよ〜



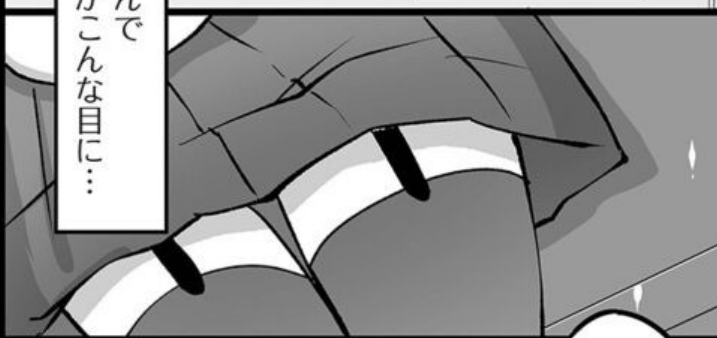
オトコノコ?  
オトコノコ?

ガク

文化祭で喫茶店をする  
ことになったのだが接客は  
女子連中がすることに  
なっていたはずだった…  
なのに…



なんで  
僕がこんな目に…



かなでくん♪  
ねーねー  
皆のところ  
戻ろうよ

ん？  
委員長か…



嫌だ

でも

奏を目覚めさせることが  
出来るのは委員長だけだ

おねがい

みな  
皆に頼まれ  
ちゃったね



皆で女の子みたいだとか  
かわいいだとか…

僕がもっと  
男らしくしたら  
こんなことには  
ならなかったかな…

はあ

ふーん男らしく  
なりたいたんだね  
じゃあ奏君  
オトコノコ度チェック  
してみよっか

私のこと  
犯して





ぐっ  
わかったよ!

男子は皆  
大喜びで  
飛びついてきたけど  
奏君は来ないの〜  
男らしくなりたいん  
じゃないの？



ふふ

むち

ぽんっ♡



かっ

うわ  
委員長  
ふたなりってホント  
だったのか

ぽんっ♡

そうだよ〜  
どうどう〜  
結構自信あるんよ〜



むわ



んんん  
どうしたのかな？  
オトコノコの妻君が  
女の子のおちんちんに  
負けちゃうの？

そんなわけ！

あはっ

マイ

おっさん

おっさん

おっさん

奏君  
力はやっぱり  
強いね



あんっ  
それだけ？  
ガツガツ来ないの？

おん♡

はま

はま

はま

はま

おん♡



ビーンッ

あく奏君のおちんちん顔に似合わず結構大きいね♪

もうちよつとカワイイかと思ってた♪

当たり前だろ僕は男なんだ!

もうカワイイだなんて言わせないぞ!

ほあ

ほあ

ほあ

ほあ

あん

キ



ちゅるるる

あん♪入ってきたあく奏君のかたあい! バッキバキ

ぐち

ちゅるる

ちゅるる

ぐち

あ

あ

あん

ちゅるる



腰の動きも  
激しくてえ

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

あん♪  
私イッチャウ〜



ちゅん ちゅん

ちゅん



ちゅん

奏君は  
オトコノコに  
なれるかな〜？

ふふ



ちゅん

委員長のから  
目が離せないっ



奏君のお臭くて濃くて

私の身体がおいしいって喜んじゃってるよ

何言ってるの々  
まだチェック項目は残ってるよ

これからは男として扱ってくれよ

こっこれでいいんだよな

はま

はま

はま

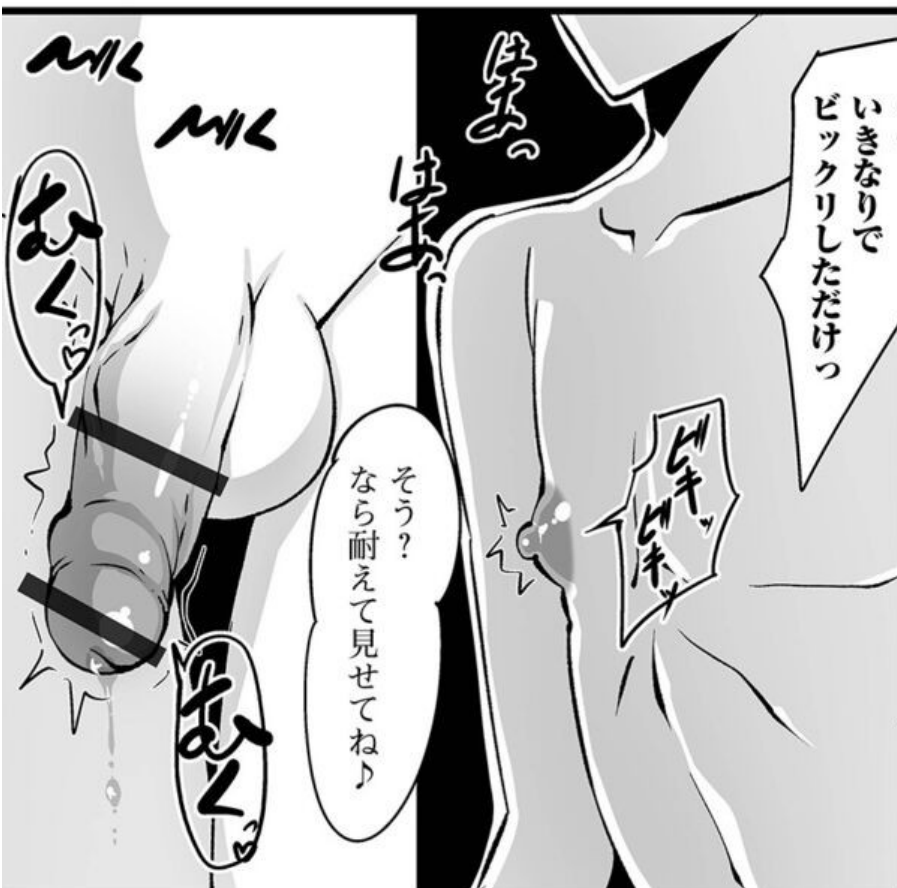


ひゃああつ!



今度は私が攻める番♪

えいつ!



そう? なら耐えて見せてね♪

くっいきなりでビックリしただけっ



やん♪ カワイイ声♪





めい  
めい

めい

ぐいッ

ところで  
さっきから  
私のコレ  
チラチラ見ては  
目をそらしてるけど

あれあれ々  
気持ちいい  
のかな々々?  
女の子みたいな声  
漏れてるよ々

どうしてかなあ々

めい

ほあ

ほあ

ほあ

ほあ

ほあ

えっ

めい

あっあっ!

まっまっ

めいめい

めい

めい



あれく  
奏君  
私のおちんちん  
触ったらお尻キュツ  
としまったよ

ひゃあああ

ぐにゅぐにゅ

まゆむ

あむ

まゆむ  
集

と思ったら  
イッちやったよ

集

ほあ

ほあ

はあはあ  
委員長のチンコ...

まゆむ  
まゆむ



手に触れたときの  
硬さ熱さ脈...

入れられたのが  
指じゃなくて  
委員長のだったら  
.....っ！

まゆむ

まゆむ



ふふ  
じゃあ最終項目♪  
奏君はく

入れられたい？

あは

むわ

あは

あは

入れたい？

あは

あは

好きな方を  
選んでいいよ

あは

あは  
やっぱり♪

ふふ  
じゃあ私が奏君を  
男の娘にしてあげる♪

あは

あは

あは

あは



ちゅっ

ちゅっ

ズッ

ちゅっ

ひゃあああ

委員長の太いのが

ほま

ほま

ズッ

ちゅっ

ズッ

ちゅっ



ちゅっ

ズッ

あつあつ  
僕もう

カク

ぐんぐん

カワイイ声で鳴いて  
良いんだよ

あはは  
奏君は男の娘なんだから

ぶるん

ぶるん

カク

ぐんぐん

壊れちゃう!

まゆん  
まゆん

ちゅっ

ぶるん  
ぶるん

ちゅっ

ズッ

ズッ

ちゅっ

ズッ



元の身体に戻れなく  
なっちゃ

ひゃあん

おちんちん  
入れられて悦んじやう  
身体になっちゃったあ

かん  
かん  
かん

んっ

んっ

ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ

んっ

んっ

んっ

んっ

ちゅぷ  
ちゅぷ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

ちゅぷ

んっ  
んっ

んっ  
んっ



ふふ  
奏君のお尻がキュンキュン  
締まって

私のせーし  
飲みたいって  
言って  
搾りだそうと  
してくるよ♪

精子でいつちやう  
男の娘になりたいでしゅ〜

ひゃあい  
飲みたいでしゅ

ちゅるちゅる  
ちゅるちゅる

ちゅるちゅる  
ちゅるちゅる

ちゅるちゅる

ちゅるちゅる

はま

はま

はま

はま  
はま

はま  
はま

はま

はま

はま

はま

はま

はま



奏君  
連れてきたよ

ザワツ

お前…  
本当に奏か？

委員長は  
やっぱり流石だな！

はま

ふふ

あは

ザワ

ザワ

いやあ  
あの巨根突っ込まれたら  
ひとたまりもないだろ

なあに  
欲しいの？

いやあ  
遠慮しとくよ  
普通にさせてくれ

なあんだ  
残念

END



あらあら  
ちゃんと片付けておいてね

いつも  
失敗ばかり…

私はお父様が  
このお屋敷の当主様の使用人  
という繋がりです  
次期当主である  
お嬢様の使用人として働くこと  
になったのですが…

# メイドさんは ふたなり娘



ふふ  
カワイイ……



しっかり  
お嬢様のサポートを  
しなければならなかった  
のですが

そして  
今日から一週間  
当主様とお父様は  
私とお嬢様を  
残して外出すること  
なっているので







あっ

あっ



お嬢様っ!

お嬢様っ

入るわよー



えっ

えっ

ゆっ  
ゆっ

ゆっ  
ゆっ



はま  
なんか  
様子がおかしい時が  
あると思ったら

はま  
いき  
こういうことだったのね

はま  
あなた  
面白い身体してるのね



へー



はま  
ごめんなさい!

はま  
これは  
そのっ

お嬢様っ



さうよ

え!?!  
これを着るんですか!?

うう...



謝ることなんて  
無いわ  
あなたと遊ぼうと思って  
こんな物を持ってきてみたけど

予定を変更してえ  
あなた明日からコレを  
身に着けて仕事をしなさい



ちよ  
朝食でございます

ふふありがとうございます

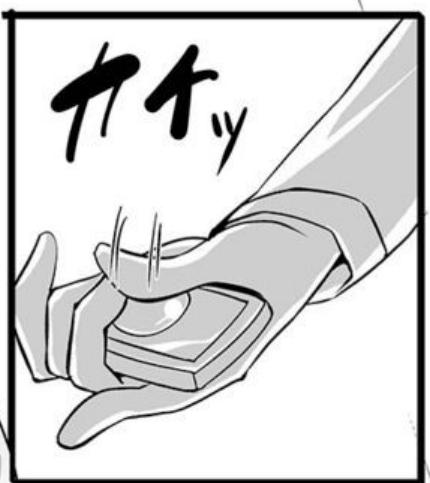
うっ...  
はっかっ...

おっばいも  
おちんちんも  
はみ出ちやいそっ

スト



うわうん



カッ

ひゃっ...

おっ

スト

あら?  
どうしたの?

顔赤くして  
それに



何かしら？  
硬くてビクビクいってるわ

びくん



これ

びくん



もうっ申し訳ありません  
お嬢様っ

ひゃあ  
あっあっ

んっ

お

ふふ  
いいのよ

シャワー  
浴びて来るから  
片付けよろしくね

びく

びく

びく

びく

はく

また  
お嬢様に迷惑かけて  
しまつて…  
どうしよう…

どうしたの？  
元気なさそうだけど

雑草が生えてきて  
しまつていますね

しっかり  
片付けておこなつ

まゆ

まゆ

ひゃっ

まにゅ

まにゅ

お止めください





あっ

あっ

もっ  
もうひわけっ

私が片付けておくから  
シャワー浴びてきなさい

ちよ



どうしたの  
手が止まってるじゃない

ん  
ひゃあ



あらあら  
可愛い♪



ん  
あ

ちよ



お嬢様…

大変申し訳ありません…

色々考えたのですが  
これ以上ご迷惑をかける  
わけにも行きませんので



このお仕事を  
やめることにいたします

うづ

あ

んきー

んきー

ガハ

はー

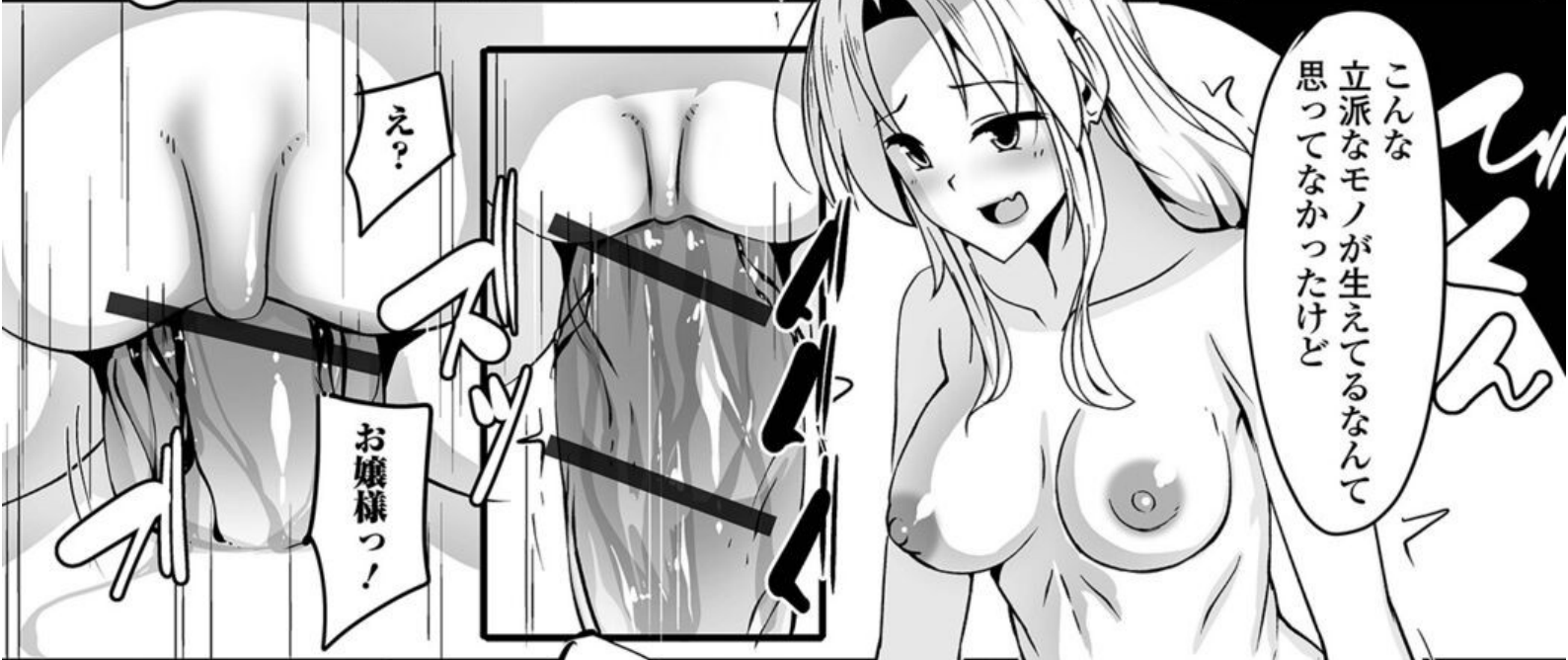


あなたの事が  
可愛くてついね…

ぐにっ

ぐにっ

あなたに  
悪戯したのは  
悪かったと思っ  
ているわ  
いつも  
失敗ばかりでも  
一生懸命な



え？

お嬢様っ！

こんな  
立派なモノが  
生えてるなんて  
思っ  
てな  
かつ  
たけ  
ど



今まで  
不自由  
だった  
でしょ

ビク  
クリ  
した？

どま

どま

でも  
私はあなたも  
あなたのおちんちんも  
大好きよ

おちんちん

おちんちん

おちんちん

はっ

はま

はっ

おちんちん

そんな  
私はどう責任を取ればっ!

しっかりお仕事を  
出来るようになって貰う  
ことかしら♪

ふふふ

まずは  
夜のお仕事から  
特訓しましょうね♪

おちんちん

おちんちん





お嬢様!

そんな  
激しくされたら  
私っ!

ダメですっ!  
やめてください!



ほらほら

今度は  
あなたから



おわ

これはもうちよっと  
おちんちん鍛えないと  
いけないわね



あら  
もういつちやったの?

はま







あはあは

やっ

まっ  
かっ

まっ

30  
50

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

七年後

お嬢様

いってらっしゃい  
ませ

どうか  
なさいましたか？

……

昔のことを  
思い出していたわ

ふふふ  
今夜はアノ服を着て  
私の部屋へ  
いらっしゃい

はい

END











さつき  
ボクに見つかっても  
手を止めなかったじゃん



でもふにやふにや  
だね



それどころか  
手の動き激しくなったた

本当は見られ  
たかったんでしょ  
あつ  
硬くなってきた



やっぱり  
ふたなりさんののは  
いいなあ

はま  
あつあつ







イクツ♡

おっおっ♡

はま

はま

はま

えっ

ねえねえ  
場所変えようよ

ほらっ!

ゆるる  
ゆ



どき

どき  
どき  
どき

どき  
どき

ガン  
ガン  
ガン

ん〜  
わかんない〜

こんなところ  
大丈夫なの？

えっ  
えっ

どき

パ  
パ  
パ

はま  
はま

どき  
どき  
どき



はま

はま

えっ  
わからないって  
そんなっ

パ  
パ  
パ

そっ  
それは

でも〜

おねえさん  
バッキバキに  
なってるよ〜

メチャクチャ  
興奮しちゃってるじゃん

ボクも  
硬くなりすぎて  
おちんちん痛い

パ  
パ  
パ





どきどき

はあ

うん…

ふふふ

はあ

はあ

はあ



はあ

ほらあ  
気持ち良いよお

ふふふ

ふふふ



どきどき

はあ

見られちゃったら  
やばいのに…

どきどき

どきどき

こっこの辺り  
私の学校の  
通学路なの

はあ

せーし  
お漏らししちゃった

大丈夫  
だって〜

ふふふ

どきどき

はあ

はま

はあ

はあ

我慢できなくなっちゃった

ねえ  
ボク：



はま

はあはあ

はま

おちんちんが...

きてえ  
僕の中お姉さんのおちんちんでグチャグチャにしてえ

とぶ  
とぶ

はま

とぶ  
とぶ

ビキッ  
ビキッ

ちゅぶ

えへへ

私も我慢  
できない



むむむ

お尻は  
使い込んでるからね

柔らかっ  
なにこれえ



むむむ

ちゅぶ

はま

はま

はま

ああん  
お姉さん  
おちんちん  
のおおきすぎ



ぶぶぶ  
ぶぶぶ

ちゅぶ

ボクの  
お尻壊れちゃう  
お姉さんの  
形になっちゃう!

ぶぶぶ



ぶぶぶ

ちゅぶ

ちゅぶ



はま

私のおちんちん  
溶けちゃうっ

まっ

こんなことしてるって  
バレちゃったらって

んっ

キキッ  
キキ

ぷん

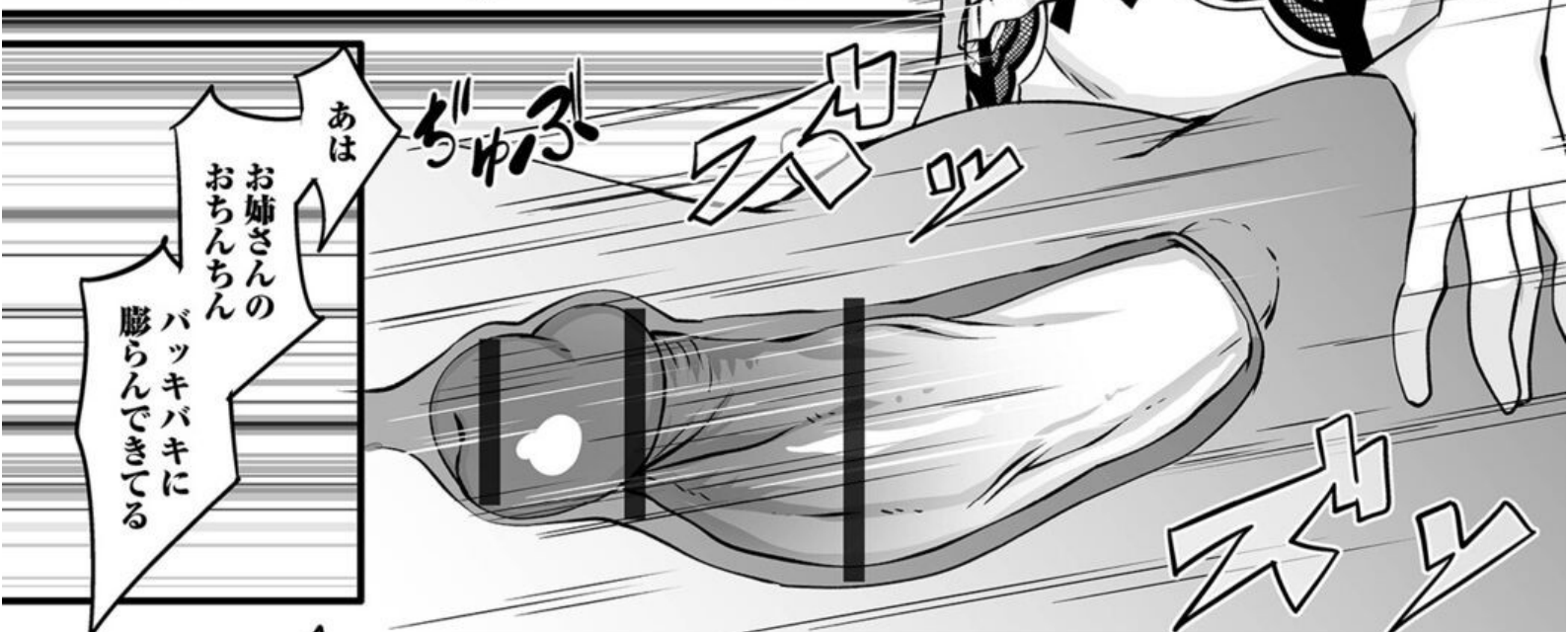
ぷん

思っっ

ちゅぶ

ぷん

ズ  
ズ  
ズ



ちゅぶ

ズ  
ズ

あは

お姉さんの  
おちんちん

パッキパキに  
膨らんでくる

ズ  
ズ



ちゅぶ

ちゅぶ

キキ

もっと  
激しくして

メチャクチャに  
してえ

ズ  
ズ

キキ



ちゅっ

ちゅっ

ストリー

あっ  
あっ  
凄い

ちゅっ

あ、あ、ん、

ストリー

ちゅっ

ちゅっ

おちんちん  
爆発しちゃう!

ストリー

ストリー

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



